

B：宮城県コース

井上 秀夫（1970・法）

今回の東北応援ツアーに参加して痛感したこと。それは「想定外」と「想像力」です。仙台空港へ近づく。ここが震災当日ヘリコプターからの実況映像で映し出された場所。ひたひたと津波が滑走路を進むあの場面。そして今、私はバスの車中から空港のすぐ傍の大きな水路を右に見ながら進んでいる。幅 30m 程、道路面から水路底まで 3m 程か。テレビの映像では、平坦な滑走路を進む津波。しかし実際はこうした大きな水路をまたぎ、乗り越え進んでいった津波。空港のロビー内は 3m の水深だったとか。そんな津波が来るとは「想定外」。でも、今回の津波は私達に『津波とは、とんでもない力で押し寄せてくるんですよ。もっと「想像力」を高めて物事を考えないといけません。』と教えてくれているようなもの。「想像力」をより高めて考えれば「想定外」の事態は、「想定内」の事態に一転し、的確な対応が可能。

私達の日常生活の中にあっても、こうしたことがあるのでは、ないでしょうか。車の運転をしている時、「想定外」の事故が。あるいは家の中でも会談を踏みはずし、転落、死亡といった、まさかの事故が・・・。

そこであらゆる場面で、より最悪の事態を想定しながら行動する。神経質になりすぎという指摘を踏まえながらも、心して「想定外」と「想像力」ということを念頭に毎日の生活を着実に過ごす。

私にとって震災の現場をこの目で確かめた意義は大いにありました。